

早島町一般会計財政見通し

(令和7年度～令和9年度)

令和6年12月

早 島 町

1 はじめに

本町の財政状況については、歳入面においては主要財源である町税が堅調であり、また、ふるさと納税寄附金が増加していることから比較的安定した収入を確保しています。一方で、歳出面においては、少子高齢化の進展等による社会保障関係費や町独自の教育・子育て施策、福祉施策等のソフト政策への支出が増加していることに加え、公共施設等の老朽化に対応するための経費や道路・施設等整備に伴う公債費の増加が見込まれるなど、経常的に支出される経費がさらに増加することが懸念されます。

こうした状況下で、早島町一般会計財政見通し（以下「財政見通し」という。）は、3年間の収支の推移を展望し、限られた財源の有効活用と適正配分を図るため、令和9年度までの3年間の財政計画として策定するものであり、計画的な施策及び事業実施とその財源の見通しを示すものです。

なお、財政見通しは、今後の社会情勢の変化、地方財政をめぐる情勢の変動等により必要に応じて修正を行うこととし、次年度以降の予算編成の基準となるものです。

2 まちの財政状況の推移

（単位：百万円、％）

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算規模	4,764	5,117	5,328	5,671	6,112
歳入決算額	5,239	6,962	6,255	6,216	6,551
歳出決算額	5,005	6,744	6,042	5,916	6,364
経常一般財源	3,277	3,398	3,748	3,676	3,719
経常一般歳出	3,100	3,119	3,179	3,158	3,372
財政調整基金残高	857	827	914	1,010	1,293
地方債残高	4,502	4,519	4,643	4,668	4,529
財政力指数	0.722	0.728	0.706	0.678	0.653
経常収支比率	94.6	91.8	84.8	85.9	90.7
実質公債費比率	6.4	6.6	6.5	6.1	5.2
将来負担比率	-	-	-	-	-

3 財政見通し作成の前提条件

第5次総合計画実施計画に基づいて施策・事業を行うこととします。

項目別では、以下の条件により計上しています。

(1) 歳 入

① 町 税

令和6年度当初予算をベースに経済情勢等を勘案し計上

② 譲与税・交付金

令和6年度当初予算をベースに現行制度で計上

③ 地方交付税

令和6年度交付見込み額をベースに計上

④ 国・県支出金

事業費を基本に、現行の国及び県の制度補助率等を用い計上

⑤ 町 債

令和7年度以降の臨時財政対策債は、地方債計画の増減率を準用して計上し、事業に伴う町債は、その事業費から特定財源を控除した額に事業別の充当率を乗じた額を計上

⑥ 繰入金

令和9年度までの3年間で繰り入れる基金は以下のとおり計上

・公共施設等整備基金から2,500万円

・減債基金から826万円

・ふるさとづくり基金から9億円

・財政調整基金から財源不足額全額

⑦ 繰越金

令和6年度当初予算をベースに100万円で計上

⑧ その他特定財源

令和6年度当初予算をベースに同額を計上

ただし、事業費により変動する財源は、その事業費から積算し計上

(2) 歳 出

① 人件費

令和6年度の事業別職員数を基準に各年度の役職別の平均給与等に乗じて計上

また、会計年度任用職員給与については、各事業計画に基づき計上

② 扶助費

過年度の実績及び対象者増加を見込み計上

③ 公債費

既発の町債に対する償還額をベースに計上

④ 普通建設事業費

現在行っている継続事業に加え、令和９年度までに実施を予定している道路改良・水路整備等の建設事業を計上

⑤ 補助費等

令和６年度をベースに事業実施年度を勘案し計上

⑥ 繰出金

各課で積算した特別会計ごとの事業費をベースとして計上

なお、国民健康保険特別会計及び公共下水道事業会計への法定外繰出については、所要額を見込み計上

⑦ その他

令和６年度をベースに各課で積算した増減率を見込み計上

４ ３か年の財政の見通し

（１）令和７年度

歳入歳出の総額は８５億７，２１５万円で、主な事業費は、早島駅周辺拠点整備事業９億４，７９５万円、基幹システム標準化対応事業２億６，２８２万円、地域福祉施設設備改修事業７，７６０万円、排水機場整備事業１，０００万円、農業用施設整備事業１億５００万円、県道建設事業３，４８６万円、町道新設改良事業２億１，７００万、公園整備事業２，６００万円、下水道事業会計繰出金２億１，５１０万円、学校施設整備事業８，２５０万円です。

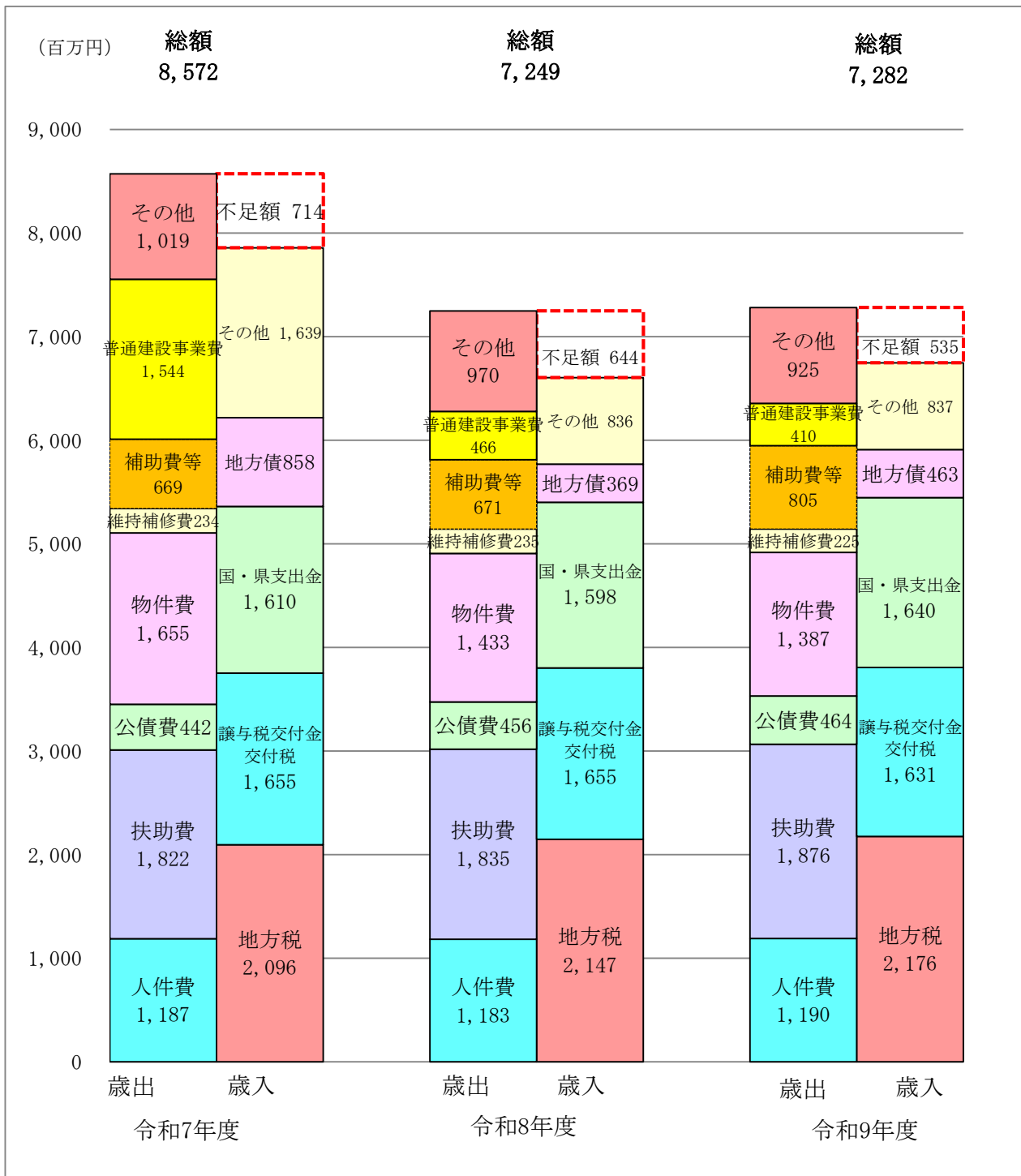
（２）令和８年度

歳入歳出の総額は７２億４，８６８万円で、主な事業費は、早島駅周辺拠点整備事業６，９４８万円、排水機場整備事業１億２００万円、農業用施設整備事業１億１，２００万円、県道建設事業４５０万円、町道新設改良事業１億４，０００万円、公園整備事業２，６００万円、下水道事業会計繰出金１億４，２４７万円です。

（３）令和９年度

歳入歳出の総額は７２億８，２５７万円で、主な事業費は、排水機場整備事業１億４，５００万円、農業用施設整備事業１億３，８００万円、県道建設事業２，２５０万円、町道新設改良事業１億７，９００円、公園整備事業で１，１００万円、下水道事業会計繰出金９，８３９万円、小学校施設整備事業３，０１０万円です。

3 か年財政見通し（一般会計）



主要事業の一覧

(単位：百万円)

事業名	令和7年度	令和8年度	令和9年度
早島駅拠点化整備事業	947.9	69.5	0
第5次総合計画後期基本計画等策定事業	7.0	10.3	0
基幹システム標準化対応事業	262.8	0	0
高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定事業	0	5.2	0
地域福祉計画策定事業	0	4.5	0
第8期障害福祉計画及び第4期障害児福祉計画策定事業	0	3.7	0
地域福祉施設設備改修事業	77.6	0	0
市街化編入に伴う計画策定関連事業	12.5	4.9	3.9
排水機場整備事業	10.0	102.0	145.0
水路改修事業	105.0	112.0	138.0
県道建設事業	34.9	4.5	22.5
町道新設改良事業	217.0	140.0	179.0
公園整備事業	26.0	26.0	11.0
小学校施設整備事業	0	0	30.1
中学校施設整備事業	82.5	0	0
幼稚園施設整備事業	1.5	11.7	0

5 地方債の状況

令和7年度から令和9年度の臨時財政対策債及び普通建設事業に伴う地方債の借入予定額は、次のとおりです。

(単位：百万円)

事業名	令和7年度	令和8年度	令和9年度
臨時財政対策債	17.1	17.1	17.1
早島駅周辺拠点整備事業	425.8	0	0
県防災設備整備事業	0	0	21.7
排水機場整備事業	6.3	51.3	50.8
水路改修事業	76.4	76.0	87.3
ため池改修事業	0	20.0	40.0
緊急浚渫事業	31.5	40.0	40.0
県道新設改良事業	31.3	4.0	20.2
町道新設改良事業	142.6	104.1	150.4
町道維持事業	0	45.0	35.0
急傾斜地崩壊対策事業	5.0	5.0	0
社会福祉施設整備事業	69.8	0	0
中学校施設整備事業	52.2	0	0
幼稚園施設整備事業	0	6.9	0
合 計	858	369.4	462.5

※令和6年度時点で活用期限が示されている地方債については、期限延長と仮定して借入予定額に含めている。

地方債残高の見通し

(単位：百万円)

	令和7年度	令和8年度	令和9年度
地方債残高	5,094	5,042	5,082
うち臨時財政対策債	1,848	1,655	1,469

※令和4年度県内町村平均 6,383百万円

6 財政調整基金繰入額の状況

財政調整基金は、年度間及び収支調整の財源として、例年当初予算に繰入金として計上しています。全ての施策・事業を実施し、歳入不足分について財政調整基金の繰入れを行ったと仮定した場合、令和8年度には基金残高がマイナスに転じ、令和9年度末の残高は8億800万円のマイナスとなる見通しです。

なお、財政見通しには織り込んでいませんが、地方財政法の定めにより前年度の純繰越金の2分の1を基金に積み立てることとされています。

財政調整基金残高の見通し

(単位：百万円)

	令和7年度	令和8年度	令和9年度
財政調整基金残高	371	△273	△808

※令和4年度県内町村平均 2,128百万円

【参 考】

これまでの財政調整基金繰入額の推移

(単位：百万円)

年 度	当初予算	最終予算	備 考
令和2年度	284.0	120.7	積立金 90.8
令和3年度	199.3	0	積立金 87.0
令和4年度	188.4	0	積立金 95.7
令和5年度	191.3	0	積立金 282.6
令和6年度 (見込み)	295.0	289.4	積立金 81.3

7 財政指標の見通し

(単位：%)

区 分	令和7年度	令和8年度	令和9年度
経常収支比率	97.5	97.5	97.8
実質公債費比率	5.0	5.6	6.0
将来負担比率	5.3	21.5	37.5

※令和4年度県内町村平均 経常収支比率 84.7%、実質公債費比率 9.4%、将来負担比率 - %